



# 玉湯町 まちあるき ガイドマップ

TAMAYU GUIDE MAP



古代出雲の風薫る歴史と文化のまち

## 玉湯町

### 歴史

まちの名が示すように、玉湯町は古代の玉作と温泉のまちとして知られています。全国的にも著名な出雲玉作の繁栄は、別名「出雲石」とよばれる花仙山産の青メノウの存在が重要な役割を果たしました。また温泉は山陰を代表するものとして、古代からその名は広く知られていました。まちの西方に残る地名「林」は、この地の豪族林臣に関係するもので、林の地区には大規模な古墳群や古代寺院の跡が残され、往時をしのぶことができます。

### 玉作

この地での玉作の操業は弥生時代末に遡り、最も盛んな時期は古墳時代で、平安時代まで続き、日本列島の各地で行われた玉作の中で最も長く操業が続いた歴史をもっています。古代出雲国の長官であった出雲国造は、代替わり毎に上京し、天皇長寿の祝詞と各種玉を献上する慣わしがありました。その玉作が続いた歴史は、永年の蓄積された技と花仙山の青メノウが豊富であったところに大きな要因がありました。



### 温泉

玉造温泉は『出雲国風土記』(733年)にも記され、当時すでにその効能は広く知られていました。一度湯に浸れば肌がきれいになるとともに、癒えない病は無いとされ、「神の湯」と呼ばれたほどでした。江戸時代には、松江藩主の別荘としてのお茶屋も設けられました。また当時出雲33番札所巡りの信仰が盛んになり、最終札所が町内の岩屋寺であったことから、参拝を終えた巡礼者の旅の疲れを癒す役割も果たしました。現在、湯の効能は美容に有効な成分が確認され、一躍注目を集めています。



### 自然

南には緑の山々が連なり、各谷川沿いには集落の営みが、そして玉湯川沿いには源泉がみられます。北には宍道湖が広がり、湖を隔てて東西に横たわる島根半島が遠望できます。四季をとおりて湖畔からの夕日は絶景で、また秋が深まると飛来する渡り鳥の群れがみられます。春は花仙山椿や玉湯川土手の桜並木、新緑の山を彩るツツジや白いコブシの花の他、里山では絶滅危惧種の動植物が見られるのも豊かな自然が残されている証拠です。玉湯は山の緑と温泉と湖という独自の自然環境と景観で構成されています。



### 玉湯町 まちあるき ガイドマップ

TAMAYU GUIDE MAP

〈お問合せ先〉  
松江市玉湯公民館  
〒699-0202 島根県松江市玉湯町湯町1796  
TEL 0852-62-9111  
制作/平成26年9月改訂  
発行/玉湯町わがまち自慢発掘プロジェクト実行委員会

### 布志名焼

布志名焼は、戦国時代の武将の末裔舟木与次兵衛村政によって始められたとされ、布志名地区にある複数の窯元の総称です。別名出雲焼と称されるほど著名で、山陰を代表する焼物です。大名茶人として知られる松平不昧公の庇護もあって盛んな時期は民窯・藩窯も含め多くの窯元がありました。明治時代には海外向けの生産も盛んに行われ、繊細な絵付けが人気を集めました。現在も伝統的な茶陶から現代的な作風まで多彩な器が生産されています。

## わがまちのココが イチオシ!!

玉湯町には歴史や文化、伝統に育まれたたくさんのお見どころがあります。その中でも、玉造、湯町、布志名、林、大谷の5地区ごとのイチオシの見どころをご紹介します! 裏面の地図と併せてまちを巡ってみてください。



## 玉造

### 史跡に恵まれ 温泉街として観光客で にぎわうまち

**1 玉作湯神社と  
願い石・叶い石**  
少彦名命[温泉の神]、柳明玉命[玉作りの神]、大名持命[国造りの神]がまつられたお社で、江戸時代より湯姫大明神・玉作湯神社などと呼ばれ、親しまれています。境内にまつられている真玉は、要害山に眠っていた自然の丸い石で、念願成就のいわれから「願い石」とも呼ばれています。近年はお守りにする「叶い石」と共に注目されています。

**2 御茶屋跡**  
歴代の松江藩主が別荘として、湯治のため度々利用されました。当時の面影が敷地の一部からうかがえます。

**3 金比羅宮と  
カラス天狗**  
200年以上昔に建てられた拝殿や狛犬、迫力あるカラス天狗や不動明王には金比羅信仰が深く関わっているようです。

**4 出雲玉作史跡公園と出雲玉作資料館**  
古墳時代から約750年間、メノウを美しい玉に磨き上げた工房の集落跡で、玉作に関する資料も数万点出土しました。これらの資料は近くの出雲玉作資料館で見学することができます。展示施設として玉に特化した“全国唯一”のものとして知られます。

**5 姫神像と  
神話オブジェ**  
神の湯のシンボル「姫神」や、出雲神話に因んだオブジェが温泉街に9箇所あり、歩きながら神話に触れることができます。

## 湯町

### 春には桜が咲き誇る 歴史と伝統に 触れるまち

**1 報恩寺  
十一面観音立像**  
山号は養龍山。弘法大師の開山と伝えられる真言宗の古刹です。松江城の裏鬼門にあたり、城を災いから守護する寺として大切にされました。同寺の十一面観音立像は1538年(天文7年)に鎌倉時代の大師運慶の子孫・康運の手により造られました。奈良の長谷寺式で高さ4.26mと県内最大の仏像です。1968年(昭和43年)県指定の有形文化財となりました。ケヤキの寄木造で、頭上に十一面の化仏を置き左手に水瓶、右手にしゃく杖を持ち、表情は穏やかで大変優しく、見る者を引きつけて離しません。

**2 玉湯川土手の桜並木**  
春には見事な花を咲かせ、葉桜も美しい。温泉地としての風情を添えるため1912年(明治45年)に桜の苗木を植栽し今日に至っています。

**3 西灘公園**  
宍道湖で唯一の美しい砂浜が残る湖畔は、宍道湖水辺八景にも選ばれており、古くから夕日の名所「湯町灘」として知られています。汽水域特有の動植物、自然を楽しむ場所です。

**4 布志名焼  
湯町窯**  
1922年(大正11年)開窯。民芸運動の指導者河井寛次郎、浜田庄司、パーナード・リーチの影響を受け、布志名焼の流れを汲む伝統に新しい息吹を運んだ。丈夫で温かみのある器で親しまれています。平成23年度には日本民芸館賞を受賞されました。

**5 おもしろ釜**  
この辺りの古い地名「面白村」にちなんで「おもしろ釜」と名づけられました。湯は源泉かけ流し、約70度で温泉卵や、温野菜が出来ます。

## 布志名

### 神社や窯元 歴史と伝統が 残るまち

**1 布志名焼  
雲善窯・雲寅窯・船木窯**  
江戸中期に開窯し、明治以降は布志名の特徴である黄釉を使った製品が全国的に流行し、海外にも多くが輸出されました。その後、民芸運動の高まりの中で作風を変えていきました。江戸時代には松江藩の御用窯であった雲善窯(土屋 幹雄)の他、雲寅窯(舟木 康定)、船木窯(船木 伸児)があります。

**2 若宮神社**  
窯元の守護神であり、布志名焼隆盛の時代は、各窯元から競って調度品等が奉納されました。今でも、春秋2回のお祭りが行われています。

**3 舟木与次兵衛村政石碑**  
布志名焼開祖の舟木与次兵衛村政の功績を讃える石碑が、布志名を通る山陰本線南側の小高い丘に立っています。1909年(明治42年)に建立されました。

**4 布志名判官  
(墓所山上の公園)**  
布志名地内の東部、判官山の頂上に石碑が立っています。1898年(明治31年)、建武の新政で活躍した布志名判官佐々木義綱を顕彰するため建てられました。

**5 布自奈大穴持神社  
(布自奈神社)**  
祭神は大國主命、別名大穴持(おおあなむち)。本殿脇の一段小高い場所に俗称「小宮さん」という「布自奈神社」の額のある小さな社があります。由来については諸説あり、また名称についても不明な点があります。いずれにしても、出雲国風土記時代からの古社です。参道からの眺望もすばらしいです。

## 林木

### 出雲国風土記と 深い関わりを持ち 歴史を感じさせるまち

**1 宍道湖ふれあいパーク**  
鳥ヶ崎にある一面が芝生の小高い丘から眺める宍道湖は最高です。駐車場、販売機、トイレもありとても便利な公園です。休日にはんびり芝生で寝転ぶのも気持ち良いです。

**2 布宇神社**  
大己貴命、素戔鳴命、級長戸辺命、下照姫命を御祭神とし、「出雲国風土記」に「拜志郷 布宇社」と記されている神社です。古くから風ノ宮と称されていますが、風雨の災いはいはもとより風即ち風邪に通じることから、はやりかぜを封じる神としても信仰を集めています。

**3 林古墳群**  
約50基からなっていますが、なかでも43号墳は出雲地方で最古の横穴式石室をもつ前方後円墳です。発掘調査では200点をこえる副葬品が出土しています。1985年(昭和60年)に発掘調査され、1988年(昭和63年)に古代の技法そのまま隣接地に復元されました。中に入って見学することもできます。

**4 弁慶岩**  
民家の庭先にある巨大な来待石で、武蔵坊弁慶の下駄にはさまった岩を宍道湖対岸から蹴り上げた説、宍道湖畔に大きな岩がありそれを蹴飛ばしたら飛んできてそこに落ちた説があります。実際は不明ですが荒神様としておまつりしてあります。この岩の大きさは一度見てみると「おお……」となること間違いなし。

**5 柳井の来待石石切場**  
石切りが行われている現場は、反り立つ来待石の壁に圧倒されます。中新世(2400万年~600万年前)に生存していた「リシオラドキシア」の下顎の一部の化石が1980年(昭和55年)に見られ、日本では数例しかありません。

## 大谷

### 玉湯川の源流 人情あふれる 自然の宝庫

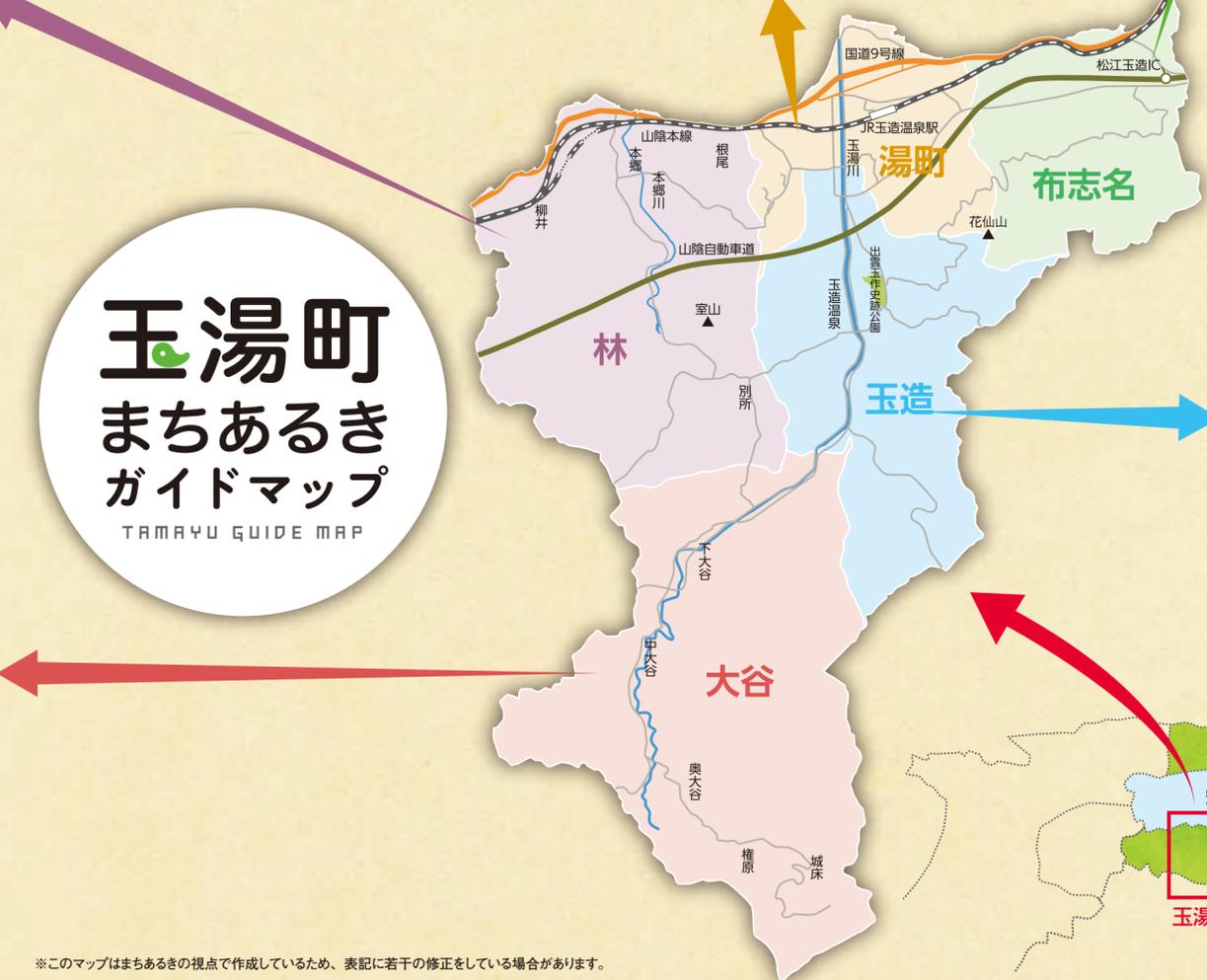
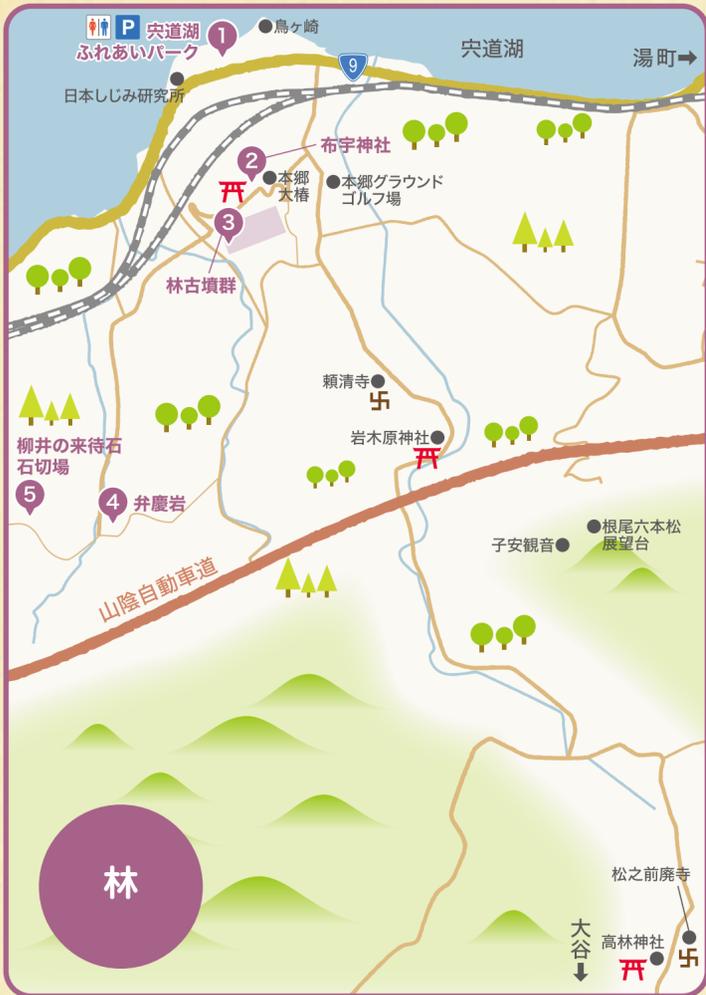
**1 ひとひめ  
一人女神社**  
天照大御神を祭神とします。境内の「むくろじ」の木の実を洗剤などに使用されると伝えられる御神木です。

**2 花仙山椿の原木**  
江戸時代、大谷の篤農家として稲作技術の改良に大きく貢献した戸谷源八の生家でもあります。市の天然記念物に指定された樹齢200年の花仙山椿の原木があります。

**3 日速神社の  
双葉ガシ**  
境内には葉先が二つに分かれた双葉ガシの御神木があり、その葉を水や酒に映けて飲むと病が治ると伝えられています。

**4 若槻礼次郎  
ゆかりの大谷小学校**  
大谷小学校は、島根最初の総理大臣・若槻礼次郎が若き頃教鞭をとり、その足跡は住民の誇りとなっています。移設を終った現在の学び舎も趣があります。

**5 城床ふるさと公園**  
玉湯町の最高峰(標高300メートル)から望む三瓶山、宍道湖、斐川平野など四季折々の景色を楽しめ、山菜も豊富です。また遊歩道での散策、人工芝のそり滑りやグラウンドゴルフなど家族連れで楽しめます。



- 山陰本線
- 山陰自動車道
- 国道・県道
- 神社 寺 お寺
- 指定文化財
- オススメスポット  
※表面オススメスポット紹介と併せてご覧下さい。
- トイレ P 駐車場

※このマップはまちあるきの視点で作成しているため、表記に若干の修正をしている場合があります。